うららの里山里海湖写真コンテスト「春の里山里海湖賞」受賞作品
「荒島岳を望んで」川縁　功　氏

うららの里山里海湖写真コンテスト「春の里山里海湖賞」受賞作品
「田植え」半田　信和　氏

福井の生きもの歳時記シート

福井の春を
さがしてみませんか

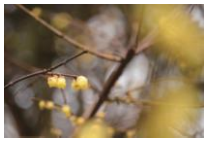
うららの里山里海湖写真コンテスト「福井県知事賞」受賞作品
「田植え途中　母と子の休憩」広部　紀美子　氏

立春（りっしゅん）2016 2/4

文字どおり、「春立つ」時節ということで、春が始まる日です。まだ、寒さのきびしい時期ですが、立春から立夏の前日までが春です

七十二候

第一候
東風解凍
はるかぜこおりをとく



2/4～2/8　ロウバイ

春の兆しとなる暖かい風が川や湖の氷を溶かし始めるころ。「東風（こち）」は春風を表す代名詞です。

第二候
黄鶯見睨
うぐいすなく

2/9～2/13　ウグイス

山里で「ホーホケキョ」とうぐいすが鳴き始めるころ。春の訪れを告げるウグイスは「春告鳥（はるつげどり）」とも呼ばれます。

第三候
魚上氷
うおこおりをのぼる

2/14～2/18　サクラマス

川や湖の水がぬるみ、割れた氷の間から魚が飛び跳ねるころ。春先の氷を「薄氷」と呼びます。

雨水（うすい）2016 2/19

この頃になると寒さがほんの少し和らぐのが感じられます。積もっていた雪が解け始め、降る雪も雨にかわる頃です。春一番が吹き、木の芽も出始めます。

七十二候

第四候
土脉潤起
つちのしょううるおいおこる

2/19～2/23　オウレン

雪にかわってしっとりとした春の雨が降り始め、大地が潤い始めるころ。「脉」は「脈」の俗字です。

第五候
霞始靄
かすみはじめてたなびく

2/24～2/28　オオイヌノフグリ

春霞がたなびき始めるころ。歳時記では春に出る霧を「霞」、夜の霞を「朧（おぼろ）」と呼びます。

第六候
草木萌動
そうもくめばえいずる

2/29～3/4　ミチノクフクジュソウ

草木が土の中や枝々からいっせいに芽吹き始めるころ。草の芽が萌え出すことを「草萌え（くさもえ）」と言います。

啓蟄（けいちつ）2016 3/5

地中で冬ごもりをしていた虫たちが、地中からはい出るころです。「虫」とは言いますが、この場合はいわゆる昆虫だけでなく、ヘビやカエルなど土の中で冬を過ごす様々な生きものをさします。

七十二候

第七候
蟄虫啓戸
すごもりむしとをひらく

3/5～3/9　ナナホシテントウ

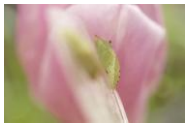
戸をひらいて顔を出すかのように、冬ごもりをしていた生きものが姿を現すころです。

第八候
桃始笑
ももはじめてさく

3/10～3/14　モモ

モモの花が咲き始めるころ。花が咲くことを「笑う」と表現しています。「山笑う」は春の季語となっています。

第九候
菜虫化蝶
なむしちょうとなる



3/15～3/19　モンシロチョウ

青虫がモンシロチョウになるころ。「菜虫」は畑の大根や蕪、油菜などを食べる青虫のこと。菜の花が咲き、まさに春本番です。

春分（しゅんぶん）2016 3/20

太陽が真東から出て、真西に入り、昼と夜の長さがほぼ同じになります。いよいよ本格的な春の到来。春分以降は、昼の長さが長くなっていきます。

七十二候

第十候
雀始巣
すずめはじめてすくう

3/20～3/24　スズメ

スズメが巣を作り始めるころ。古くから日本人にとって身近な存在の鳥です。昼の時間が少しずつ伸び、多くの生きものが繁殖期を迎えます。

第十一候
櫻始開
さくらはじめてひらく

3/25～3/29　サクラ

桜の花が咲き始めるころ。桜前線の北上を日本中が待ち望んでいます。お花見の季節の到来です。

第十二候
雷乃発声
かみなりすなわちこえをはっす

3/30～4/3　菜の花

春の訪れを告げる雷が鳴り始めるころ。「春雷（しゅんらい）」は「虫出しの雷」とも呼ばれています。

清明（せいめい）2016 4/4

空は青く晴れ渡り、大地にたくさんの花が咲くころです春の暖かな陽射しの中、まさに天地万物が清らかに、明るく輝いている様子を表す言葉です。

七十二候

第十三候
玄鳥至
つばめきたる

4/4～4/8　ツバメ

ツバメが南の国から飛来してくるころ。本格的な農耕シーズンの始まりです。「玄鳥（げんちょう）」とはツバメの異名です。

第十四候
鴻雁北
こうがんかえる

4/9～4/13　ガン

雁が北へ帰っていくころ。雁は夏場をシベリアで、冬は日本で過ごす渡り鳥です。

第十五候
虹始見
にじはじめてあらわる

4/14～4/19　ヒバリ

雨上がりに虹が見え始めるころ。淡く消えやすい春の虹も、空気の潤いとともにしだいにくっきりしてきます。

穀雨（こくう）2016 4/20

春の雨が降り、田んぼや畑の農作物が育つころです。必ずしもこの時期に雨が多いというわけではありませんが、しっとりとした春の雨がやや長引けば、菜種梅雨などとよばれることもあります。

七十二候

第十六候
葭始生
あしはじめてしょうず

4/20～4/24　ヨシ（アシ）

水辺のヨシが芽吹き始めるころ。山野が植物の緑一色に輝く時期の始まりです。

第十七候
霜止出苗
しもやみてなえいづる

4/25～4/29　イネの苗

霜が降りなくなり、苗代で稲の苗が生長するころ。間もなく薄緑色をしたじゅうたんのような水田の光景が広がります。

第十八候
牡丹華
ぼたんはなさく

4/30～5/4　ボタン

ボタンが大きな花を咲かせるころ。豪華で艶やかなボタンは「百花の王」と呼ばれています。

◇◆◇暖かくなると、たくさんの生きものも活動を始めます。こんな生きものも見つけたら報告してください。◇◆◇

植物

ホトケノザ
（シソ科）

茎はシソ科に共通の四角形で、淡い赤紫色の花が上を向いて咲きます。春の七草に出てくるホトケノザは、となりのコオニタビラコのことです。

コオニタビラコ
（キク科）

田んぼに多い越年草で、3 月頃から黄色い花をつけます。地面で平らに広がる様子から“田平”子と名づけられています。

ハルジオン
（キク科）

よく似た植物にヒメジョオンがありますが、茎の中が空洞になっていて、葉の付け根が茎にまきついているのがハルジオンです。

カンサイタンポポ
（キク科）

日本在来のタンポポで、最近その数が減っています。花のつけね部分（総苞片）がそりかえらないのが特徴です。

セイヨウタンポポ
（キク科）

外国からやってきた植物（外来生物）で、在来のタンポポと違い、花のつけね部分（総苞片）がそり返り下を向いています。

ナズナ
（アブラナ科）

春の七草の１つ。4 枚の花びらをもつ白い小さな花を咲かせます。ハート形の実をつけるのが特徴です。

カラスノエンドウ
（マメ科）

「巻きひげ」をもつツル植物で、春になると 60~90cm にも伸び、花を１つつけます。よく似た植物にスズメノエンドウがあり、こちらは花を３～７つつけます。

シロツメクサ
（マメ科）

長い花柄を伸ばした先に、白い小さな花をたくさんつけ球形になります。

ツクシ
（トクサ科）

正式にはスギナという植物の胞子茎で、先の丸い部分（子嚢穂）から胞子を飛ばしています。漢字で「土筆」と書き表します。

昆虫

アゲハ
（アゲハチョウ科）

黒地に黄色い紋があります。春のものは全体に白っぽく、夏は黄色味が強くなります。幼虫は、カラタチ、サンショウ、ミカンなどの葉を食べます。

ツマグロオオヨコバイ
（ヨコバイ科）

日当たりのよい場所の葉の上でよく見かけます。漢字では「横這い」と書き、名前のとおり横に動いて葉の裏側にかくれます。別名バナナ虫とも呼ばれます。

ヒシバッタ
（ヒシバッタ科）

豆粒のような茶色いミニバッタです。体型がひし形をしているのでこの名前がついています。体色には変異があります。地上や地上近くの草の上にいます。

その他の生きもの

ニホンアマガエル
（アカガエル科）

アマガエルは、オタマジャクシから成体になると、草や木の上で活動します。英名では「tree frog（樹のカエル）」と言います。

ニホンアカガエル
（アカガエル科）

名前のとおり、体色が赤茶色をしているのが特徴です。目の後ろから腰へと伸びる左右１対の皮ふの盛り上がり（背側線）がまっすぐです。

ニホンカナヘビ
（カナヘビ科）

ヘビと名前がつきますが、トカゲの仲間です。早春の陽だまりでじっと日光浴している姿を見かけるようになります。

ニホンアマガエル
オタマジャクシ

アマガエルのオタマジャクシは、親の体の割には大きくなり、最大で５cm ほどにもなります。

ニホンアカガエル
卵塊

ニホンアカガエルの産卵期は１月から５月で、ときには氷が張っている田んぼにも産卵します。

季節ごとの生きものの情報、画像を投稿してください。

福井県里山里海湖研究所では、二十四節気や七十二候などの歳時記に見られる時節の生きものの情報や画像を募集しています。

投稿いただいた情報は、専用のホームページ上で公開します。

情報をいただいた方の中から、毎月抽選でプレゼントを進呈します。

情報提供の仕方

①生きものを見つける。

時節の生きものや植物などを探してみます。昨日までいなかった生きものや、いつの間にか咲いていた花など、身のまわりの自然に目を向けてみましょう。

季節ごとの生きもの情報は、里山里海湖研究所のホームページでチェックしていただいてもＯＫです。

②-1 里山里海湖研究所のＨＰから投稿する。

福井県里山里海湖研究所ホームページの投稿フォームから、氏名（ニックネーム）、見つけた生きもの、場所、コメントなどを記入して投稿してください。できるだけ、生きものを撮影した写真も添付してください。

ＨＰアドレス：http://satoyama.pref.fukui.lg.jp

②-2 郵送・FAX で報告する。

下記の報告シートに必要事項を記入の上、里山里海湖研究所まで送付してください。その際にも、できるだけ写真を添えて送ってください。

郵送先：〒919-1331　三方上中郡若狭町鳥浜 122-31-1

ＦＡＸ：0770-45-3680

③ＨＰに生きものの写真や情報が表示されます。

福井県里山里海湖研究所のホームページ内に、生きものの写真や情報などのほか、見つけた場所が福井県のマップ上に表示されます。

見つけた生きもの	
ホームページ掲載用のニックネーム	
調べた（見た・聞いた）日	年　　月　　日
見つけた場所 （住所や目印など、できるだけ具体的に記入してください。）	
一言コメント	
プレゼントを希望される方は、以下も御記入ください。	
住所	〒
氏名	
連絡先	